

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	S61 ~	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・本県の畜産は、従事者の高齢化が進み、農家戸数・総飼養頭羽数ともに減少傾向となっている。また、一戸あたりの飼養頭羽数は増加しているが、自給飼料生産の拡大が課題となっている。

・畜産経営は、経済情勢や新型コロナウイルスの影響により生産物価格が不安定になっているほか、輸入飼料価格が史上最高値を記録するなど、外的要因により経営に大きな影響を及ぼしている。

2 事業目的

経営規模や自給飼料生産の拡大、省力化技術の導入を推進するとともに、飼養衛生管理基準の遵守を徹底することで、畜産経営の生産性を向上し、県産食肉等の安定供給を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①畜産の生産性と収益力の向上

- ・自給飼料作物の増産と高品質な堆肥生産を支援
- ・生産性を向上させるスマート農業技術の普及
- ・飼養頭羽数の増加など収益性向上のための施設整備を支援
- ・畜産農家の事業継続のため、価格が高騰している飼料購入費等の一部を支援するとともに、生産性向上のための取組や、牛乳・乳製品の消費拡大対策を実施
- ・耕畜連携体制づくりを支援するとともに、飼料作物生産機械の貸出制度を設けることで、耕種農家による飼料生産を後押しし、県産飼料の生産・利用拡大を図る



耕種農家と連携した飼料生産



安全安心な農場を認定

②個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上

- ・信州プレミアム牛肉など高品質な牛づくりの推進
- ・県オリジナル地鶏ヒナの安定供給
- ・老朽化している食肉処理施設の整備支援

③消費者に信頼される安全・安心な生産体制の確立

- ・農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	実績	実績	推移	推移			
①	乳用牛の1戸あたり平均飼養頭数	頭	52.4	55.8	↗	58.6	↗	58.0	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画における達成指標（令和5年度：58頭→令和9年度：60頭）の初年度である令和5年度は58頭を目標とする。	
② ③	信州プレミアム牛肉の認定率	%	68.7	69.2	↗	69.8	↗	69.1	達成	直近の認定率増加量（0.2ポイント）を維持することを目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	134,190	224,383	1,884,571	2,243,144	36,127	1,199,484	13.67
R4年度	155,252	87,558	632,653	875,463	14,427	574,004	13.67
R3年度	90,131	46,809	230,300	367,240	14,044	129,018	13.67

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	畜産振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課		

7 主な取組実績と成果

<p>①畜産の生産性と収益力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備への支援（1か所）により、自給飼料給与割合の向上や畜産経営の規模拡大が図られた。 ・牛群ドック（血液生化学検査、飼料給与診断等）を通じた指導の実施（47戸）により、生乳の生産性向上が図られた。 ・国庫事業活用による高性能機械の導入推進（14件）により、自給飼料の生産拡大や収穫等の作業性の向上が図られた。 ・畜産農家のほか J A 等の畜産関係者を対象とした研修会の開催により、飼養・衛生管理技術の向上が図られた。 ・配合飼料購入費等に対する一部助成（事業実施主体30者）、粗飼料購入費に対する国事業への上乗せ支援（畜産農家181戸）や牛乳・乳製品の消費拡大PRの実施により、飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和及び経営の継続が図られた。 <p>②個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の優れた乳用牛や良質な枝肉などを競う共進会の開催(県主催1回ほか開催支援10回)により、信州プレミアム牛肉などの県産畜産物のブランド力や飼養管理技術等の向上が図られた。 ・「信州黄金シャモ」等の素ビナの供給（19,613羽）により、長野県オリジナル地鶏の安定生産を通じたブランド力の向上が図られた。 ・老朽化している食肉処理施設の整備支援に向けた検討会等の開催（2回）により、関係者の合意形成が図られた。 <p>③消費者に信頼される安全・安心な生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州あんしん農産物〔牛肉〕生産認定農場の衛生検査及び飼養管理方法等の現地検査の実施（143件）により、安全・安心な生産体制の維持が図られた。
--

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	乳用牛の1戸あたり平均飼養頭数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
畜産クラスター事業等の活用による規模拡大と酪農粗飼料価格高騰緊急対策事業による酪農経営維持支援の結果、1戸あたりの飼養頭数が増加した。							
指標②③	信州プレミアム牛肉の認定率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
推定育種価やゲノミック評価を活用した脂肪交雑やオレイン酸含有率等の遺伝的な改良、代謝プロファイルテストの実施、信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都の開催等を通じた飼養管理技術の向上等の取組により認定率が向上した。							

9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の実績等は概ね目標を達成することができたものの、畜産業界全体としては飼料価格の高止まり等により利益確保が難しい状況にあることから、引き続き生産性の向上や省力化に向けた取組を推進するとともに、国産飼料の確保等の持続的な畜産経営に向けた取組を強化していく必要がある。
<p>(2) 事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼料作物生産機械の貸出制度を設け耕種農家等による飼料生産を後押しし、国産飼料の生産・利用拡大を図る。また、耕種農家と畜産農家をマッチングし耕畜連携体制を築くとともに、公共牧場の機能強化等の取組を実施し、国産飼料の確保を図る。

事業番号	09 04 06	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	畜産振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	農業制度資金利子補給等事業		731 千円	544 千円	541 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	畜産特別資金利子補給事業	補助金	畜産特別資金等借入農家の負担軽減のための利子補給及び経営改善指導を実施 利子補給対象件数 11件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	地域畜産対策事業		91,260 千円	82,236 千円	27,376 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	飼料増産と堆肥活用の促進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・耕畜連携や畜産農家の単収・品質向上による自給飼料増産を図るほか、公共牧場の機能強化と活用を促進 ・高品質な堆肥生産に向けて、事業推進体制の構築や計画作成を支援 草地更新・スマート放牧等のモデル実証：3件、ペレット堆肥製造支援：現地指導2回、実績発表2回		
2	畜産振興施設の整備	直接補助金	自給飼料給与割合の向上や畜産経営の規模拡大のための施設整備を支援 整備箇所数 1件		
3	耕畜連携による国産飼料の生産・利用促進	直接	耕畜連携体制づくりを支援するとともに、飼料作物生産機械の貸出制度を設けることで、耕種農家等による飼料生産を後押しし、国産飼料の生産・利用拡大を推進 検討会1回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	畜産物流通安定対策事業		2,367 千円	2,417 千円	2,633 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	肉用子牛価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する価格差補てん金（肉用子牛生産者補給金）の財源となる積立金の造成を補助 県の積立金による造成額 2,138千円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	食肉流通対策事業		70 千円	405 千円	415 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	食肉施設運営主体による整備計画の作成及び施設整備の支援	直接補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の食肉流通が円滑に進むよう、事業者間の連携・補完についての話し合いを促すとともに、施設運営主体の整備計画づくりを支援 ・排水処理施設整備が必要な食肉施設を支援 検討会開催 2回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	乳用牛対策事業		3,765 千円	5,755 千円	5,289 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	牛群検定データの分析及び情報提供	直接	乳量・乳質の向上を図るため、牛群検定情報の分析加工と情報提供を実施 牛群検定頭数 2,873頭		
2	バルク乳全戸検査及び牛群ドックの実施	直接	・搾乳衛生の改善等を図るため、バルク乳を用いて細菌検査及び牛ウイルス性下痢症検査を実施 ・牛群ドックとして血液生化学検査や、飼料成分分析を実施 牛群ドック実施農家数 47戸		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	家畜振興対策事業		30,735 千円	27,914 千円	22,029 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	種畜検査の実施及び家畜人工授精師の養成	直接	・家畜改良増殖法に基づき、優良な雄の家畜を確保するための検査を実施 ・次代を担う技術者を養成するため、講習会を開催 家畜人工授精師養成講習会 2回		
2	農場の衛生検査	直接	・県産牛肉の生産及び消費の拡大のため、農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施 信州あんしん農産物〔牛肉〕生産認定農場検査件数 143件		
3	長野県オリジナル地鶏の生産体制の整備	直接	こだわりある地鶏の生産振興に向けて、畜産試験場で開発した「信州黄金シャモ」及び「長交鶏3号」の素ビナの供給を実施 県オリジナル地鶏の素ビナ供給 19,613羽		
4	肉用牛の改良増殖	直接	こだわり牛肉づくりのための基盤を強化するため、ゲノミック評価等を活用した種畜の作出に取り組むとともに、効率的な肥育素牛の増産体制を実証 畜産試験場における牛受精卵生産 77個		
5	高収益型養豚経営の確立	直接	養豚場の課題を把握し、各農場の繁殖成績を向上させるための指導等を実施 疾病発生状況調査 7戸		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	配合飼料価格高騰緊急対策事業		0 千円	372,059 千円	891,674 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	飼料購入費等の一部支援（配合飼料、単味飼料）	補助金	・飼料価格高騰の影響を受ける畜産農家の事業継続を支援するため、飼料購入費の一部を助成 事業実施主体 30者へ助成		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
8	酪農経営サポート事業	0 千円	82,674 千円	249,527 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	飼料購入費の一部支援 （粗飼料）	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料価格高騰の影響を受ける酪農家の事業継続を支援するため、飼料購入費の一部を助成 酪農家 181戸、補填額 222,340千円	
2	酪農における生産性向上のための検査・指導及び牛乳・乳製品の消費拡大	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・乳用牛の疾病等について検査を行い、生産性向上に向けた指導を実施 ・安定した需要を創出するため、牛乳・乳製品の消費拡大に向けて、メディアを活用した広報PR等を実施 検査頭数 延べ1,325頭、メディア等による消費拡大PR（R5.10～R6.3）：新聞掲載2回、テレビCM90本他	